

## 小学校統合に関するアンケート

～小規模校の諸問題を解決し、より良い教育環境を提供するために～

※ ご記入いただいた調査票は、元の封筒に入れて6月21日（金）までに、お子さんの通っている学校の学級担任へご提出くださいますようお願いいたします。

1. この調査票は、保護者の方がお答えください。氏名を記入していただく必要はございません。
2. 回答は、選択肢の中から選んだ項目に○を付ける、又はその他の欄に文字を記入してください。
3. アンケートに関するお問い合わせ

利根町教育委員会 学校教育課 ほうたい 布袋，河村

電話：68-2211（内線220・301）

## 調査についてのお願い

日頃より、利根町の教育行政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

町では、児童生徒数の減少により平成19年度に中学校2校を1校に、平成20年度に小学校5校を3校に統合しました。

しかしながら、人口の減少に歯止めがかからず、将来の児童数推計では、平成36年度（令和6年度）に複式学級となる学校があり、学校が小規模化し教育指導上及び学校運営上、さまざまな問題が表面化することが懸念されます。

そのような中、より良い教育環境を整え教育の質の向上を図り、小中学校の将来のあり方について検討するため、学識経験者、保護者などで構成する「利根町小中学校適正配置等調査検討委員会」を設置しました。

小学校統合については、第一に子どもたちのことを考え検討を重ねた結果、同一学年の中でクラス替えができ、子どもたちにより良い教育環境、快適な学習の場を提供する。

条件が町内で最も整っている布川小学校へ、平成35年4月（令和5年4月）を目途に小学校3校を統合することが望ましいとの答申をいただきました。

教育委員会ではこの答申を受け、今後、学校小規模化の諸問題を解消する小学校統合の基本的な考え方をまとめた『基本方針』を策定していくこととなります。『基本方針』を策定するに当たっては、保護者の方々や教職員のご意見を踏まえた内容にしたいので、今般、アンケート調査を実施することにしました。

ご多忙のことと存じますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年6月

利根町教育委員会

**お住いの地区・お子さんについてお聞きします。**

**問1 保護者の方の年代をお答えください（該当するものに○）**

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代以上

**問2 お住いの地区の小学校区をお答えください。（該当するものに○）**

- ① 文小学区 ② 文間小学区 ③ 布川小学区 ④ その他（ ）

※ 未就学児の保護者の方で小学校区が不明な方は、お住いの地区に○をつけて下さい。

早尾 大平 横須賀 羽根野 上曾根 下曾根 下井 押付新田 中田切  
もえぎ野台1丁目 2丁目 3丁目 4丁目 5丁目 羽中 福木 中谷  
立崎 加納新田 惣新田 布川 八幡台 四季の丘 奥山 押戸 大房 立木

**問3 お子さんの年齢や学年をお答えください。  
（兄弟姉妹がいる方は全てに○をつけてください。）**

未就学児	1歳未満 ・ 1歳 ・ 2歳 ・ 3歳 ・ 4歳 ・ 5歳 ・ 6歳
小学校	1年生 ・ 2年生 ・ 3年生 ・ 4年生 ・ 5年生 ・ 6年生
中学校	1年生 ・ 2年生 ・ 3年生

## 調査検討委員会 答申概要

H30.10に答申をいただきましたので、答申及び設問の元号は「平成」で表記しています。

### 【基本的な方針について】

子ども同士が人と人との関わりの中で切磋琢磨することや多様な人間関係を築くことによって、豊かな人間性を育成し、社会の変化に柔軟に対応できる人材を育成するには、国・県が示している（※1）ように、クラス替えが可能である各学年2学級以上の12学級以上が適正規模であると判断されました。

- ※1 国の基準・・・12学級～18学級（1学年2～3学級）  
県の基準・・・クラス替えが可能である各学年2学級以上の12学級以上

### 【具体的な方策について】

小学校の現状（表3参照）は、文小学校が6学級、文間小学校が8学級、布川小学校が10学級であり、教育委員会の試算（表1参照：児童数が減少）では、文小学校で、平成34年度に児童数が100名を下回り（推定91名）、平成35年度は入学予定者が4名（表5参照）となり、平成36年度には、複式学級（※2）となる可能性があります。

同一学年の中でクラス替えができる学校を構築するためには、小学校3校を1校に統合することが望ましいという答申をいただきました。

- ※2 複式学級・・・2つ以上の学年をひとつにした学級  
基準：（2個学年）16人（1年生を含む場合は8人）

### 【統合場所（調査検討委員会答申）】

学校施設の状況から平成28年度に大規模改造工事が完了し、統合後の改修費用等の財政負担（表4参照）も少なく済み、子どもたちにより良い教育環境、快適な学習の場を提供する条件（グラウンドが広いなど）が町内で最も整っている布川小学校への統合が望ましいという答申をいただきました。

### 【統合時期（調査検討委員会答申）】

小学校の統合時期については、急激な人口減少が進んでおり、少子化にも拍車がかかっている中、統合時期が遅れば、適正規模・適正配置の意味が希薄化する恐れがあり、児童数の推計（表5参照）を考慮すると平成35年4月（※3）を目途に統合することが望ましいという答申をいただきました。

- ※3 文小学校が平成36年度に複式学級となることが予測されています。

### 《統合のメリットとして考えられるもの》

- クラス替えが可能となり、クラス同士が切磋琢磨し合うことができます。
- 運動会・文化祭・修学旅行等の集団学習・行事の教育効果が上がります。
- 教職員数が確保され、習熟度別指導、専科指導など多様な指導方法が可能となります。

※ 小学校を統合するに当たり重要な内容となっておりますので、最後までお読みになって、アンケートにお答えください。

表1 <児童生徒数の推移>

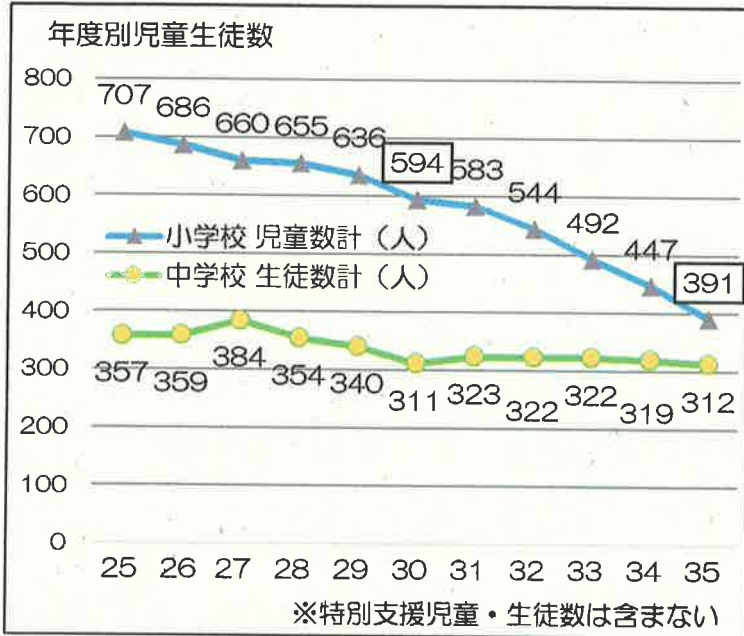


表2 <H30年度とH35年度の児童数推移>

	H30年度		H35年度	
文小学校	156人	→	68人	(-88人)
文間小学校	199人	→	159人	(-40人)
布川小学校	239人	→	164人	(-75人)
計	594人	→	391人	(-203人)

表3 <学級数の現状> (平成30年5月1日現在)

学校名	普通学級数					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年
文小学校	1	1	1	1	1	1
文間小学校	1	2	1	2	1	1
布川小学校	2	1	1	2	2	2

表4 <統合各案の概算事業費・主な事業概要>

	布川小学校に統合 (15教室)	文小学校に統合 (23教室)	文間小学校に統合 (8教室)	新校舎に統合 (17教室：小学校のみ)
現在の教室数				
概算事業費	1億5千5百万円	3億7千4百万円	10億3百万円	20億6千5百万円
主な事業概要	体育館の大規模改造工事	北側校舎・体育館の大規模改造工事	教室不足により校舎の増築工事	校舎新設 (土地購入費は除く。)

表5 <新1年生入学見込み数> (人)

学校名	H31	H32	H33	H34	H35
文小学校	18	9	12	13	4
文間小学校	37	29	27	25	17
布川小学校	40	25	23	20	21
小学校計	95	63	62	58	42

文小学校は、平成36年度複式学級を有する過小規模校(5学級以下)となることが予測されます。

※ 小中学校適正配置等調査検討委員会の会議内容・答申書の詳細については、利根町教育委員会のホームページをご覧ください。

URL : [www.town.tone.ibaraki.jp/page/page003169.html](http://www.town.tone.ibaraki.jp/page/page003169.html)

## 小学校の統合についてお聞きします。

調査検討委員会より小中学校の適正規模（学級数）の基本的な方針，小学校統合については，具体的な方策（統合場所及び統合時期）の答申（前頁参照）をいただきました。答申内容について，保護者の方の考えをお聞きします。

**問4** 平成35年4月1日を目途に，小学校3校を1校に統合することについて，あなたは  
どう思いますか。

① よいと思う    ② やむを得ないと思う    ③ わからない ⇒ 問8へ

↓  
問5へ

└─ (次頁)

④ 統合しないほうが良い ⇒ 問7へ

**問5** 問4で「①で良いと思う，②でやむを得ないと思う」のいずれかを選択した方に伺います。答申書では，布川小学校に統合するとしていますが，統合先は，布川小学校で良いと思いますか。

① よいと思う    ② やむを得ないと思う    ③ わからない

④ 別の学校が良い ⇒ 問6へ

**問6** 問5で「④で別の学校が良い」と答えた方に伺います。どこの学校が良いと思いますか。また，その理由をお聞かせください。

統合先の学校名 \_\_\_\_\_

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

**問7** 問4で「①統合しないほうが良い」と答えた方に伺います。統合しないほうが良いという具体的な理由をお聞かせください。

理由： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 現在の通学方法等についてお聞きします。

答申の具体的方策に対する付帯意見として、『遠距離通学となる地区については、スクールバスの導入を柔軟に検討するとともに、通学路、バス乗降場所等の安全対策を十分に検討し実施すること。』という意見をいただいております。

現在も、文間小学校および布川小学校でスクールバスを運行しており、お子さんの通学距離、通学時間を把握し、今後のスクールバス運行の検討資料とさせていただきます。

**問 8** お子さんの通学方法をお答えください。(該当するものに○)

- ① 徒歩 ② スクールバス ③ その他 ( )

**問 9** お子さんの通学距離をお答えください。

- ① 0.5キロ未満 ② 1キロ未満 ③ 1.5キロ未満  
④ 2キロ未満 ⑤ 2キロ以上

**問 10** お子さんの通学時間をお答えください。

- ① 10分未満 ② 20分未満 ③ 30分未満 ④ 40分未満  
⑤ 40分以上

**問 11** 小学校統合又はスクールバスに関し、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。